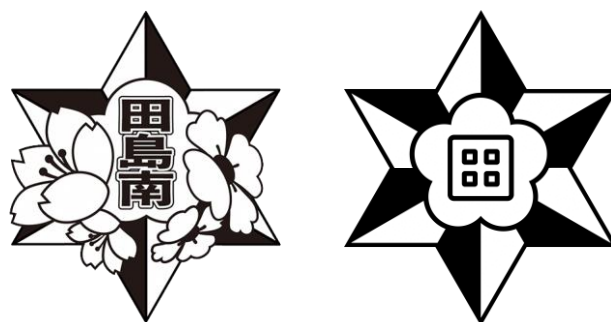


令和8年度

「運営に関する計画」

(年度当初)



田島南小中一貫校

令和8年4月

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

本校は、小中一貫校としてスタートして5年目を迎える。

これまで、スローガン「I' ll get my dream. We' ll support your dream. ~つかめ 自分の夢 ささえよう みんなの夢~」のもと、「言語力の育成」「性・生教育」「キャリア教育」「読書活動の充実」の4つの柱を軸に学校運営を行ってきた。

児童生徒は全体として規律ある学校生活を送っており、各種行事にも積極的に参加している。一方で、家庭環境が厳しい状況にある児童生徒も多く、遅刻の多さや学力の向上に課題が見られる。こうした状況を踏まえ、本校においては、安全・安心な学校づくりを教育活動の基盤とし、これらの課題の解決に取り組んでいく必要がある。

また、令和7年度末に大阪市教育振興基本計画が見直されたことを受け、令和11年度に向けては、本校の課題をより精選し、以下の事項について重点的に取り組むこととする。あわせて、取組の検証と改善を継続的に行い、教育活動の一層の充実を図る。

**<令和7年度末の現状・今後の運営方針>****【安全・安心な教育の推進】**

- ・年度末の校内調査「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合  
【小学校】 84.4%                      【中学校】 81.4%
- ・年度末の校内調査における、不登校児童の在籍比率  
【小学校】 2.7%                      【中学校】 7.6%

**【今後の運営方針】**

- ・すべての児童生徒が安全で安心して活動できる環境を整え、教育活動全体を通して自己肯定感を高める取組を推進する。
- ・不登校の未然防止及び不登校児童生徒への適切な支援を行い、すべての児童生徒が個別最適な教育を受けることができる環境を構築する。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

- ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対市比(同一母集団での比較)  
4年: 0.88 (前年度比-0.02Pt)      5年: 0.89 (前年度比-0.04Pt)  
6年: 0.83 (前年度比-0.08Pt)
- ・中学生チャレンジテストにおける、国語の平均正答率の対府比(同一母集団での比較)  
8年: 0.91 (前年度比+0.02Pt)      9年: 0.87 (前年度比-0.02Pt)
- ・年度末の校内調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する生徒の割合  
【小学校】 40.4%                      【中学校】 34.1%

**【今後の運営方針】**

- ・国語科において、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進する。
- ・各教科等の授業において、児童生徒の表現力の育成及び言語活動の充実を図る。
- ・校内研修の充実を通して、教員の教科指導力の向上を図る。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ・年度末の校内調査「読書をしていますか」で肯定的に回答する児童の割合  
【小学校】65.8%                      【中学校】42.3%
- ・学校図書館貸出冊数（1人当たりの年間平均貸出冊数）  
【小学校】33冊                      【中学校】4.9冊
- ・年度末の時点において年間で年次有給休暇を10日以上取得した教職員の割合  
【小学校】91%                      【中学校】92%
- ・年度末の校内調査「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」に対して、「毎日」・「ほぼ毎日」と回答する生徒の割合  
【小学校】60.9%                      【中学校】67.7%

### 【今後の運営方針】

- ・図書館については、蔵書の計画的な更新・充実を図るとともに、利用しやすいレイアウトへの改善や掲示の工夫を行い、児童生徒が日常的に本に親しむことのできる環境を整備する。また、主幹学校司書と連携して読書活動の活性化と読書意欲の向上を図る。
- ・学習者用端末の活用については、授業における効果的な活用を一層推進し、児童生徒一人ひとりの学びの深化をめざす。あわせて、情報モラル教育の充実にも取り組み、安全かつ適切な活用の定着をめざす。

### 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 【田島南小中一貫校共通】

- 令和11年度末の小学校学力経年調査、中学校年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、90%以上にする。
- 年度末の校内調査における不登校の児童生徒の在籍比率を、前年度より減少させる。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 【田島南小中一貫校共通】

- 全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を1.00以上にする。
- 令和11年度末の小学校学力経年調査、中学校年度目標アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、80%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 【田島南小中一貫校共通】

- 令和11年度末の小学校学力経年調査、中学校年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を80%以上にする。
- 令和11年度末の学校図書館貸出冊数（児童生徒1人当たりの年間貸出冊数）を、小学校で35冊、中学校で6冊にする。
- 令和11年度末の教職員一人当たりの平均時間外勤務時間を小学校は20時間以下、中学校は30時間以下にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 【田島南小中一貫校共通】

- 小学校学力経年調査、中学校年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、85%以上にする。
- 年度末の校内調査における不登校の児童生徒の在籍比率を、前年度より減少させる。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 【田島南小中一貫校共通】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、中学生チャレンジテストにおける、国語の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査、中学校年度目標アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、75%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 【田島南小中一貫校共通】

- 小学校学力経年調査、中学校年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を 65%以上にする。
- 年度末の学校図書館貸出冊数（児童生徒 1 人当たりの年間平均貸出冊数）を、小学校で 33.5 冊、中学校で 5 冊にする。
- 年度末の教職員一か月当たりの平均時間外勤務時間を小学校は 25 時間以下、中学校は 35 時間以下にする。

## 田島南小中一貫校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>○小学校学力経年調査、中学校年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を 85%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査における不登校の児童生徒の在籍比率を、毎年、前年度より減少させる。</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】 好ましい人間関係や信頼関係を確立する集団の育成を推進する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめアンケート (毎学期) および相談申告機能を、1 人 1 台学習者用端末を活用して実施する。</li> <li>・ブロック化による学校支援事業で、hyper-QU を実施し、生徒の実態把握を図るとともに、実態に基づいた指導を行う。(7 年生)</li> <li>・不登校対策委員会を定期的実施し、教員間で情報を共有する。また、こどもサポートネット、こども相談センター等の関係諸機関との連携を密にする。</li> <li>・年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童生徒の割合を、85%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容②【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】 9 年間カリキュラムの目標を「自分らしい生き方を実現するための力を育む」と定めて、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育成する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生きるチカラまなびサポート事業を活用して、インターネットや SNS 等の適切な使い方についての出前授業を実施する (小学校)。</li> <li>・年度末の校内調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、85%以上にする。</li> <li>・職場体験を実施して、実際の職場に赴き、働くことの意義や責任、社会の一員として求められる姿勢を学習する。(8 年生)。</li> <li>・年度末の校内調査における「将来の夢や目標がありますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、75%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容③【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】 不登校等の支援が必要な児童生徒が、落ちついて学習生活できる環境を学校内に設置し、学びたいと思ったときに学べる環境を整える。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末の校内調査において、前年度不登校児童生徒の改善の割合を増加させる。</li> </ul>	

取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】 「生きる教育」の学習について、「がんばる先生支援（グループ研究 A）」を活用して、性と生を考える取組を小中ともに全学年で推進する。	
指標 ・生きるチカラまなびサポート事業を活用し、助産師による出前授業を実施する。 (中学校) ・年度末の校内調査における「自分には良いところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、75%以上にする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
年度目標	
取組内容	
次年度への改善点	

(様式2)

田島南小中一貫校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組まず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、中学生チャレンジテストにおける、国語の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査、中学校年度目標アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、75%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力を育成する。	
指標 ・生徒の学習意欲向上のため、ブロック化による学校支援事業及び区の支援予算を活用し、小学校全学年で漢検を、中学校全学年で英検を実施する。	

<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 児童生徒の学力を向上させるため、小中ともに教員の教科指導の向上、授業改善を図る。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業者、学年と研究部が連携して、5教科の研究授業を年間15回実施し、研究授業後に研究協議を行う。(小学校)</li> <li>・公開授業日を各教員が設定し、全教員が一人1回以上の研究授業を行うとともに、他の教員の授業を一人3回以上参観する。(中学校)</li> <li>・年度末の国算(数)サポーター配置による学力向上の効果検証(2,3,7年)</li> <li>・学力向上支援チーム事業を活用し、小学校国語と中学校理科において学力向上に取り組む。</li> </ul>	
<p>取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 「がんばる先生支援(グループ研究B)」を活用して、5教科において児童の対話力を育てる授業の推進を行う。(小学校)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末の校内調査における「相手の気持ちを考えて話を聞くことができる」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、90%以上にする。</li> <li>・年度末の校内調査における「授業中自分の考えをよく発表している」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、60%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容④【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 学びサポーター、学校元気アップ地域本部事業を活用し、放課後学習会を実施し、主体的な学びを推進する(中学校)。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後学習会を原則として毎日実施する。</li> </ul>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向5 健やかな体の育成】 規則正しい生活習慣を身につけ、児童生徒が自分自身の健康に関心を持ち改善できる取組を推進する。また、食育を通じて歯科保健の取組を推進する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末の校内調査における「(平日)毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、80%以上にする。(中学校)</li> <li>・年度末の校内調査における「(平日)毎日、同じくらいの時刻に起きている」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、85%以上にする。(中学校)</li> </ul>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
年度目標	
取組内容	
次年度への改善点	

## 田島南小中一貫校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>○小学校学力経年調査、中学校年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を65%以上にする。</p> <p>○年度末の学校図書館貸出冊数(児童生徒1人当たりの年間平均貸出冊数)を、小学校で33.5冊、中学校で5冊にする。</p> <p>○年度末の教職員一人当たりの平均時間外勤務時間を小学校は25時間以下、中学校は35時間以下にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】</p> <p>学習者用端末を活用した家庭学習の定着と表現力の育成に向け、連絡や提出物の管理にTeamsおよびClassroomを運用する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校高学年及び中学校において、児童生徒が学習者用端末を活用したプレゼンテーションを行う取組を実施する。</li> <li>・年度末の校内調査における「学校生活や家庭学習で学習者用端末を活用して、学習をしていると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、65%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容②【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p> <p>学校図書館を拠点に、学校全体で読書環境の整備・充実を行うと共に読書意欲を高める取組を推進する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昼休みや放課後は図書館を原則として毎日開館するとともに、玄関ホールなど図書館以外の場所に図書スペースを設ける。</li> <li>・年度末の校内調査における「日々の生活の中で読書をしていますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、65%以上にする。</li> </ul>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
年度目標	
取組内容	
次年度への改善点	

